

松沢マニフェスト進捗評価(15～16年度)の結果【概要版】

平成 15～16 年度の松沢マニフェストの進捗評価の結果（概要）は以下のとおりです。

松沢マニフェスト進捗評価委員会

1．点検評価の方法

- 今年度の点検評価は、昨年度と同様に、次の基準による 2 本立てで行った。
 目標達成状況：マニフェストの各政策（37 本）の目標をどこまで達成できたか、「成果」に着目して客観的に評価。
 行政対応状況：目標達成に向けて県がどこまで対応しているか、5 段階区分のどの段階にあるかについて評価。
- 目標達成状況は、昨年度と同様に、マニフェストの最終目標（原則として 4 年間）に照らしてどこまで達成できたかを評価。県が総合計画等においてマニフェストと異なる目標等を定めている場合でも、あくまでマニフェストの内容に照らして評価。

2．目標達成の状況

目標達成状況は、A 評価が 5 件、B 評価が 9 件で、合計 14 件(37.8%)が目標を概ね 5 割以上達成したものとなっている。とくに昨年からの 1 年間で、A 評価が 2 件、B 評価が 7 件増加したことをみると、この 1 年間で目標達成に向けて着実な取り組みがなされたと評価できる。

一方、C 評価が 10 件(27.0%)、ほとんど成果が表れていないという D 評価も昨年と同様に 12 件（32.4%）ある。これらの中には、データ不足のために低い評価となったものもあるが、2 年間の折り返し点で C、D の評価が 6 割近くを占めていることは注意を要する。

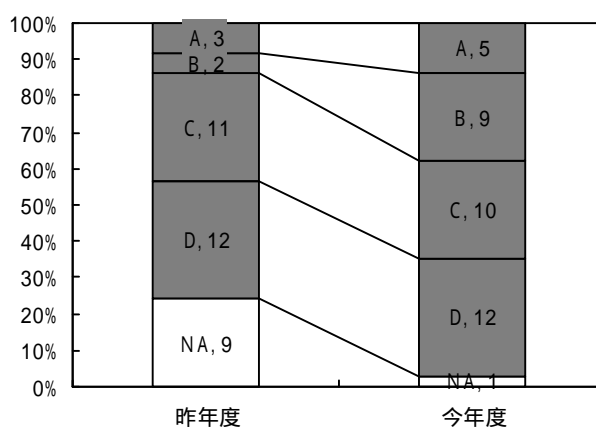
分野別では、全体的に達成度が上がったのは「 県政改革」、「 環境を守る」及び「 暮らしを守る」の分野。一方で、「 地域主権」、「 経済再生」及び「 教育再生」の分野は低い評価にとどまっている。

以上から、全体としては、マニフェストの進捗（目標達成度）は、2 年間を通じて「概ね順調」だが、なお注意すべき政策も少なくない、といえる。

表 1 目標達成の状況

区分	件数（割合）	昨年度
A	5 件(13.5%)	3 件（ 8.1%）
B	9 件(24.3%)	2 件（ 5.4%）
C	10 件(27.0%)	11 件（29.7%）
D	12 件(32.4%)	12 件（32.4%）
NA	1 件（ 2.7%）	9 件（24.3%）
計	37 件（100.0%）	

図1 目標達成状況の変化



(参考) 目標達成状況の基準

目標達成区分	達成の程度
A	目標を達成またはほぼ達成（概ね 8 割以上）
B	目標のある程度の割合を達成（概ね 5 ～ 8 割未満）
C	目標の一部を達成（概ね 2 割 ～ 5 割未満）
D	ほとんど成果が表れていない（概ね 2 割未満）
NA	評価が不能または困難な場合（データが未集計であるなど）

3 行政対応の状況

県の対応状況については、「未着手・未改善」の第1段階は1件だけであり、「方針決定・検討」の第2段階も4件のみとなった。一方で、「実施中」の第4段階が21件（56.8%）に倍増しており、昨年度よりも行政対応が大幅に進んだことがわかる。この点は高く評価できる。

もっとも、「完了」の第5段階は2件にとどまるし、第4段階といっても、具体的にはさまざまな段階があり、目標達成までは道が遠いと思われるものも少なくない。

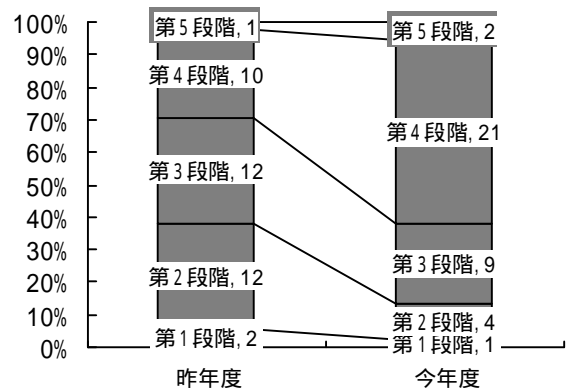
以上から、全体的には、マニフェスト実現に向けた行政の対応状況は良好と評価できる。

なお、政策別評価表や分野別評価表には、「総合的な所見」等の欄に当委員会として気がついた点などを記載したので、参考にしていただきたい。

表2 行政対応の状況

区分	件数（割合）	昨年度
第1段階	1件（2.7%）	2件（5.4%）
第2段階	4件（10.8%）	12件（32.4%）
第3段階	9件（24.3%）	12件（32.4%）
第4段階	21件（56.8%）	10件（27.0%）
第5段階	2件（5.4%）	1件（2.7%）
総計	37件（100.0%）	

図2 行政対応状況の変化



（参考）行政対応状況の基準

段階区分	新規の取組みの場合	既存取組み拡充の場合
第1段階（未着手・未改善）	未着手	既存の継続（未拡充）
第2段階（方針決定・検討）	方針決定、制度・事業の検討	拡充の検討
第3段階（準備・事業化）	制度化・事業化の作業	拡充の準備（予算化等）
第4段階（実施中）	制度決定、事業実施	拡充後の事業実施
第5段階（完了）	条例施行、事業完了	事業完了

4 備考

この評価結果報告書は、近日中に下記のホームページに掲載し、広く県民に公表します。

松沢しげふみ公式ホームページ <http://www.matsuzawa.com/kanagawa/>

次年度の進捗評価については、平成17年度末までの進捗について、平成18年4月頃から評価作業を開始する予定です。

現在の委員（11名）については、今回の評価作業をもって2年間の任期が満了するため、次年度は新しく委嘱された委員によって行われる予定です。

連絡先：松沢マニフェスト進捗評価委員会事務局 千葉
（松沢しげふみ事務所内）
電話 045-650-1717、FAX045-681-1888

松沢マニフェスト・政策別評価結果（平成 15～16 年度）

政策	目標達成	行政対応	評価理由の概要（コメント）
地域主権			
1 税財源移譲	C (C)	3段階(2)	知事が全国知事会で積極的に取り組んだ。17年度税源増となった
2 首都圏連合	C (C)	2段階(2)	部分的だが具体的構想の段階に。関係自治体の理解等が必要
3 道州制	C(NA)	2段階(1)	道州制検討部会等で調査研究。一歩前進
県政改革			
4 情報公開	B (D)	4段階(2)	情報公開度全国5位に。タウンミーティング等も積極的。一部に課題
5 自治基本条例	D (D)	3段階(2)	内部検討等の進展はあるが、検討体制の早期整備が必要
6 NPO支援	B (C)	4段階(3)	法人数は増加したが、全国トップクラスにはこれまでと違う取組みを
7 パートナ－シップ	B (B)	4段階(4)	目標達成に向けて順調に進捗。全庁的なNPO協働を
8 チャレンジ市町村	D (D)	3段階(2)	権限移譲に向けた作業が順調に進捗。県政参加のしくみ整備を
9 職員削減等	B (D)	4段階(3)	民間委託は着実に進捗。出先機関削減は効率化につながるか問題
10 人件費削減等	B (C)	4段階(4)	目標達成に向けて着実に進捗。県の指標をわかりやすく工夫を
11 県庁ワークシェア	C (C)	4段階(4)	雇用総数はほぼ順調。世代の限定をなくしたことはやむを得ない
12 県庁ベンチャー	A (A)	4段階(4)	目標を達成し更に拡充中。職員の意欲等を引き出しているか検証を
13 入札改革	D (D)	3段階(2)	削減目標は誤りを認めた。知事の指揮下で改革内容を検討中
14 民間人登用	A (B)	5段階(4)	数値目標を達成。ポストも適切だが、知事スタッフにも登用を
経済再生			
15 京浜臨海部	C (C)	3段階(3)	取組みは評価できるが、従業者数は減少傾向で成果は出ていない
16 新産業育成	C (C)	4段階(3)	開業率は改善傾向。事業の具体化段階だが、今後は新規事業も
17 中小企業等	A (D)	4段階(2)	新規求人数は目標を達成。着実に事業が展開されている
18 ツーリズム	D (C)	4段階(3)	数値確定により評価を下方修正。推進指針により事業展開中
教育再生			
19 学校改革	D (D)	3段階(2)	不登校生徒等は増加。相談体制等よりも抜本的な課題把握を
20 県立高校改革	C (C)	4段階(3)	中高一貫校の設置等で課題あり。現在の事業では目標達成は困難
21 コミュニティ・カレッジ	D (D)	1段階(1)	検討は進んでいるようだが、課題検討の段階。成果になっていない
22 英語学習	D (D)	4段階(3)	事業レベルでは進捗しているが、目標達成に向けた展開は不充分
環境を守る			
23 水源の森林	C (D)	3段階(3)	推進員は配置されたが、増加傾向に有意な変化なし
24 都市の自然	B (NA)	4段階(3)	順調に推移している。新規方式の事業にも着手
25 森林環境税	D (D)	2段階(2)	条例案が作成され制度化の作業。県民参加の努力あり
26 リサイクル	D (D)	2段階(2)	様々な対策はとられているが、目標達成には有意な変化なし
暮らしを守る			
27 子育て支援	D (NA)	4段階(3)	定員増だが待機者は減少せず。地域のニーズに合った誘導策を
28 児童虐待対策	NA (NA)	4段階(4)	相談体制等は順次整備。目標達成度評価のための指標の開発を
29 高齢者介護	D (NA)	4段階(4)	入所定員は目標達成の方向。地域のニーズに合った誘導策を
30 医療人材	B (NA)	2段階(2)	看護師は目標を60%達成、PT等は最新データなし
31 救急医療体制	D (NA)	3段階(3)	平均搬送時間は短縮せず。今後、救急センター設置の予定
32 男女共同参画	B (NA)	4段階(3)	県民ニーズ調査の結果は良好。今後も推進プランの着実な実行を
33 住基ネット	B (C)	4段階(4)	国に要望したが制度は見直しされず。個人情報保護の対応を実施
34 地震防災対策	A (A)	4段階(4)	引き続き目標を達成。今年度も必要な対応を実施
35 犯罪対策	C (NA)	4段階(4)	検挙率は25.4%に上昇。警察官増員など様々な取組みを実施中
36 暴走族条例	A (A)	5段階(5)	1年前倒して目標達成。暴走行為の減少など効果も上がっている
37 米軍基地対策	C (C)	4段階(2)	目標実現は困難だが、知事の訪米など積極的に対応している

（ ）内は昨年の評価結果を示す。 は評価結果が上がったもの（昨年NAだった場合はC以上になったもの）、 は評価結果が下がったものに付した。「評価理由の概要」は政策別評価表から抜粋した。